

おめでとうございます

叙勲を受章された人、各種大会で素晴らしい成績を収められた人をご紹介します。

学校教育の振興に貢献

元幸田中学校校長の加藤忠^{かとうただし}さんが、公立学校の校長として児童・生徒の教育に尽力し、学校教育の振興に貢献したとして、瑞宝双光章を受章した報告に役場を訪れました。

当時の思い出を楽しげに語る姿に、学校教育に対する深い愛情を感じました。加藤さんは、町長の中学校時代の恩師でもあり、昔の思い出を振り返っていました。



▲受章の報告に訪れた加藤さん

瑞宝双光章受章報告 (8/4)

ラッキー7も実力のうち！

グラウンド・ゴルフで国体への出場が決まった、小田重一郎^{おだじゅういちろう}さんがその報告に役場を訪れました。小田さんは、3月に行われたグラウンド・ゴルフ愛知県大会に出場。男子の部で優勝し、国体への出場権を獲得しました。御自身が77歳であることに言及し、ラッキー7のおかげだと謙遜していましたが「楽しんでプレーしたい」と意気込みを語ってくれました。グラウンド・ゴルフは平成27年度の第70回大会から国体公開競技となり、今年で3回目。幸田町からは初めての出場となります。



▲国体出場が決まった小田さん

グラウンド・ゴルフ国体出場報告 (8/30)

息の合った幼なじみペア！

北部中学校3年の石川亜弥^{いしかわあや}さんと大久保柚南^{おおくぼゆずな}さんが全国中学生テニス大会の女子ダブルスに出場し、その結果報告に役場を訪れました。結果は1回戦敗退でしたが、県大会では準優勝、東海大会では第5・6位という成績を収めています。石川さんと大久保さんは、幼稚園から中学校まで同じの幼なじみで、小学校の時には、県大会でダブルス優勝に輝いたこともあります。高校からのテニスについて、石川さんは「打ち込みたい」、大久保さんは「楽しくやりたい」と語っていました。



▲石川さん(左)と大久保さん(右)

全国中学生テニス大会出場結果報告 (8/30)

チームワークの勝利です！

幸田高校書道・文芸部の井原千恵理^{いばらちえり}さん、出口綾夏^{でぐちあやか}さん、二村菜月^{にむらなつき}さん、渡邊一輝^{わたなべいつき}さん、青木彩夏^{あおきさやか}さん、三田悠斗^{みたゆうと}さんが第20回俳句甲子園に出場し、その報告に役場を訪れました。大会では準優勝という素晴らしい成績を収めました。決勝では惜しくも開成高校に敗れてしまいましたが、「チームワークでは私たちが優勝」と話していたとおりの仲の良さが歓談中からうかがえました。また、個人でも「螻蛄^{かまきり}」という兼題で詠んだ井原さんの句「おっぱいなくても女は度胸いほむしり」が入選しました。



▲左から、井原さん、出口さん、二村さん、渡邊さん、青木さん、三田さん

俳句甲子園出場報告 (9/4)

西三河地域子ども会 球技大会の結果

第36回西三河地域子ども会球技大会（ドッジボール）が9月2日（土）に西尾市総合体育館で開催され、西三河の9市1町から26チーム（男子の部14チーム、女子の部12チーム）約380人の小学生が参加しました。

幸田町からは男子の部に深溝学区子ども会、女子の部に市場ジャイアント子ども会、岩堀子ども会が出場し、男子の部で深溝学区子ども会が準優勝、女子の部で市場ジャイアント子ども会が準優勝、岩堀子ども会が第3位に輝きました。



▲女子の部 準優勝 市場ジャイアント子ども会



▲男子の部 準優勝 深溝学区子ども会



▲女子の部 第3位 岩堀子ども会



▲大会の一場面

西尾市子ども会 ソフトボール親善大会

第7回西尾市子ども会ソフトボール親善大会が8月19日（土）に西尾市坂田球場で開催されました。幸田町からは夏の幸田町子ども会ソフトボール大会で3位までに入賞した、荻・桜坂子ども会、豊坂南部子ども会、坂崎子ども会の3チームが参加し、西尾市から8チームの合計11チームが出場しました。その結果、坂崎子ども会が優勝、豊坂南部子ども会が準優勝に輝きました。



▲優勝 坂崎子ども会



▲準優勝 豊坂南部子ども会



▲大会の一場面

幸田町と長崎県島原市の歴史的なつながりを学ぼう！

平成29年度 幸田町・島原市 歴史と文化の友好交流シンポジウム

「ギヤマン、日欧を結ぶ！ - 1599 ~のキセキ -」

と き 11月11日(土) 午前9時25分~午後5時15分

ところ 幸田町中央公民館 ホール

内 容 開会 午前9時25分~9時30分

趣旨説明 午前9時30分~9時40分

連携研究報告 午前9時40分~10時20分

ガラスの科学分析からわかること たむら ともみ 田村 朋美 氏 (奈良文化財研究所研究員)

基調講演 午前10時30分~正午

出島出土のギヤマンからみる東西交流 おか やすまさ 岡 泰正 氏 (神戸市小磯記念美術館・神戸ゆかりの美術館館長)

調査研究報告 午後1時~4時

・島原藩主出島への道 よしだ しんや 吉田 信也 氏 (島原市教育委員会学芸員)

・島原藩主の長崎御用とは まつお しんいち 松尾 晋一 氏 (長崎県立大学准教授)

・大名と長崎 さかきばら さとる 榊原 悟 氏 (岡崎市美術博物館館長/群馬県立女子大学名誉教授)

ディスカッション 午後4時15分~5時15分

閉会 午後5時15分

対 象 どなたでも

定 員 150人 *申込み多数時は抽選

参加費 無料

申込み 10月20日(金)までに生涯学習課生涯学習グループへお申し込みください。

問合せ 生涯学習課 生涯学習グループ (幸田町中央公民館内、内線195) FAX63-1675



しまばら 通信 vol.3

しまばらじょうたきぎのう 島原城薪能

《島原城薪能の由来》

日本が世界に誇る伝統芸能である「能楽」は、舞踏と音楽と演劇が一体となった総合芸術です。江戸時代には、幕府の武楽(儀礼用の演劇)となり、島原城の能舞台では、藩主も盛んに能を催し、やがて領民にも広まり、藩主に招かれて上演しました。

島原には「能・狂言」の長い歴史と文化が伝承されています。

また、島原藩の記録、松平文庫には多くの能・狂言の教本が伝えられています。

この歴史と伝統のある古典芸能を継承していこうと、昭和58年に「島原城薪能」として復活し、今日まで島原城天守閣前で、島原子ども狂言を加えて公演を続け、今年で第35回目を迎えます。島原の幽玄な秋を演出し、市内はもとより県内外のお客さまにも堪能していただける島原の大事な伝統行事のひとつです。

今年は10月14日(土)に島原城天守閣前広場で開催されます。そして、今回は島原市・幸田町姉妹都市締結の記念公演となっており、幸田町長も火入奉行として参加予定です。



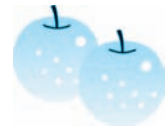
問合せ しまばら観光おもてなし課 ☎0957-63-1111 FAX 0957-62-8006

島原城薪能ホームページ www.takiginou.jp

町内生産者の皆さんが、大切に作っている農産物を使った料理をこうた食生活改善ボランティアが紹介します。

先月に続き食材は

「ナシ」



今月のメニュー その1 「ナシのフルーティーぎょうざ」

【材 料】 (10 個分)

ナシ	150 g
餃子の皮	10 枚 (大判)
ベーコン	100 g
青シソ	10 枚 (小さめ)
サラダ油	適量



【作り方】

- ① ナシは1cmのくし形に切る。ベーコンは10等分に切る。
- ② 餃子の皮に青シソ、ベーコン、ナシの順で載せ、餃子の皮で包む。
- ③ 熱したフライパンに油を引き、②を入れ、焦げ目が付いたら水を入れ蒸し焼きにする。

今月のメニュー その2 「ナシ入りきんとん」

【材 料】 (12 個分)

ナシ	200 g	ナシシロップ	
サツマイモ	200 g	水	40ml
甘納豆	20 g	砂糖	10 g
A	砂糖	10 g	
	塩	少々	
	練乳	大さじ1	
	レモン汁	小さじ1	



【作り方】

- ① サツマイモは適当な大きさに切り、蒸し器に入れ竹串が通るまで蒸す。
- ② 蒸しあがったら皮を取り、熱いうちにマッシュしてAを加え、木べらで練る。
- ③ ナシは1cm角に切り、水、砂糖でシロップ煮にする。
- ④ ③のナシ、甘納豆を②のサツマイモあんに混ぜ、好みの大きさに茶巾しぼりにする。



問合せ 健康課 母子保健グループ (内線 183) F A X 62 - 8217